

大荒木杜おほあらきのもり

〔いにしへ此ほとりにありしと見えたり、今さだかならず〕

古今

大あらきの杜の下草老ぬれば駒もすさめず刈人もなし

読人しらず

後撰

大荒木あらきの杜もりの草とや成にけりかりにだに来てとふ人もなし

忠岑

新拾

郭公き鳴と聞て大あらきの杜こそ夏のやどりなるらし

信明